

## 広島赤十字・原爆病院 がん地域連携パス指針【大腸がん手術後 Stage I 地域連携パス】

当院では、がん地域連携パスを次のように運用させていただきますので、ご協力よろしくお願いたします。

### 1.対象患者

大腸がん Stage I  
上記疾患で、大腸がん手術後

### 2.パス導入時の連絡

がん地域連携パスの適応があり、患者の同意が得られれば、主治医またはパス担当者より貴院へ電話にて連携の依頼をさせていただきます。

### 3.当院(がん診療連携拠点病院)での診察

- ①臨床症状(診察、問診、PS、体重チェック)の確認
- ②血液検査(採血、血算、生化学)、腫瘍マーカー(CEA)の施行
- ③直腸指診(直腸癌がんのみ)
- ④腹部CT検査
- ⑤大腸内視鏡検査

### 4.かかりつけ医の先生にお願いする診療

- ①臨床症状(診察、問診、PS、体重チェック)の確認
- ②血液検査(採血、血算、生化学)、腫瘍マーカー(CEA)の施行
- ③手術後、1年6ヵ月後に直腸指診(直腸癌がんのみ)

※診療情報を当院に文書(診療情報提供書)で提供いただいた場合は、月1回を限度として『がん治療連携指導料300点』を算定することができます。

### 5.パスの期間

治療後5年間

### 6.バリエーション

- ①大腸がんの再発や転移の疑いがある
- ②他疾患による病状悪化
- ③患者の事情による定期受診困難
- ④死亡

2021年4月作成

広島赤十字・原爆病院  
がん相談支援センター  
TEL 082-241-3111(内線 3214)